

柏原小学校 道徳科授業フランニングシート

① 内容項目

内容項目 (A-1)
 善悪の判断、自律、自由と責任

② 教材名

教材名
 おれたものさし

③ 教師の道徳的価値観の
 明確化
 ※指導要領解説を参考に。

・人として行ってよいこと行ってはいけないことをしっかり区別したり判断したりすること。
 ・よいこと、正しいことについて、人に左右されることなく自ら正しいと信じるところに従って誠実かつ謙虚に行動すること。(本時)
 ・よいことと悪いことの区別が的確にできるようにすること。

④ 児童の実態

学校生活にも慣れ、学級の友達ともより仲良くなっている。また、教室で密になって遊ぶ友達を注意したり、お互いに授業の始まりの時間の声掛けをしたりするなど、きまりを守って正しく行動しようとする様子が見られる。
 一方で、発言力の大きい児童には言いなりであったり、自分に不利益があることについてはごまかしたりうそをついたりしているところも見受けられる。

⑤ ねらい

(A) 主人公の心の葛藤からどうすべきか考
 える活動 を通して
 (B) 周囲の意見に流されず自分の正しいと信
 じてるところに従って判断すべき について気付き、
 (について考え)
 (C) 気をもって正しいこと進んで行おう とする(心情)を育
 てる。

⑥ 中心発問 ◎
 補助発問 ○
 児童の反応 ・

◎このあと、ぼくはどうしたでしょうか。 ㊦
 自分で行動する or 行動しない (学年帽子で意思表示)
【自分で行動する】
 ・悪いことだから注意する。
 ・ひろしをたすけたい。
 ○自分の時は言えなかったのにのぼるに言えるの？
 ○仲間もいるのに注意できるの？怖くない？
【行動しない】
 ・勇気がない、こわい。
 ・巻き込まれたらいやだ。
 ○見ないふりをしていていいの？
 ○今度は自分や他の子にされるかもよ？

⑦ 導入と終末を除いた展開部分の中心発問以下外の発問

【前】○ぼくはどうして胸がどきっとしたのでしょうか。
・僕の心に何とかしたい気持ちと、あの時何もできなかったという気持ちがあることをおさえる。
【後】○どうしてぼくは行動することができたのでしょうか。
・ぼくも周りで見ている人の一員であったこと、当事者だけでなく周りの人や仲間が勇気を持って行動することが大切であることをおさえたい。

⑧ 導入

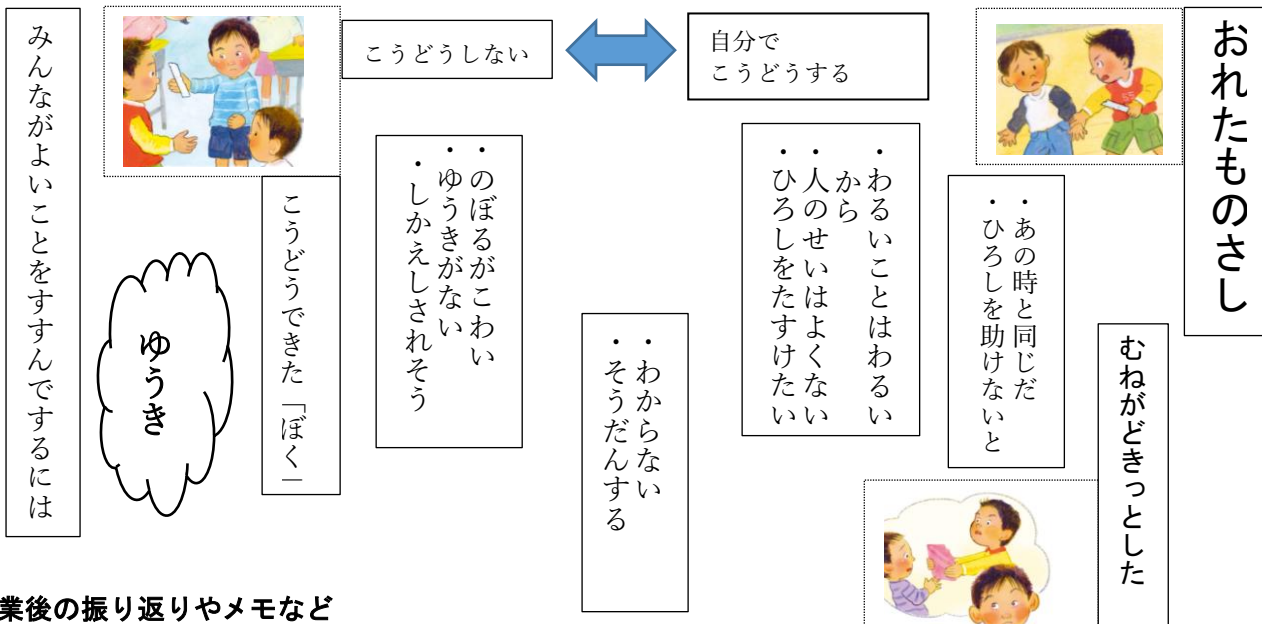
○正しくないことを友達がしていた時、どうしていますか？
事前アンケートをもとに注意できる人もいれば、できない人もいること、わかっているけどできないことがあるということをおさえる。

⑨ 終末

これまでの自分を振り返って、これからクラスみんなが良いと思ったことを進んでしていけるようになるためにはどうしたらいいと思いますか。⑩
・一人一人が正しいことをして、正しいことを正しいと言えるクラス。
・注意を素直に認める。・みんなで協力して声を掛け合う。

※ 評価の視点を1時間の中に入れる。⑩自分事としてとらえる／⑪多面的・多角的

板書計画(手書き・写真もOK)



授業後の振り返りやメモなど

A large, empty rounded rectangular box intended for post-lesson reflection or notes.